

編集人：ぶくぶくの会 〒564-0025 吹田市南高浜町 1-17-2A (総務)
 TEL 06-6317-5598、FAX 06-6317-0936 Mail: so-mu@puku-2.com URL: www.puku-2.com
 代表：馬垣安芳・編集長；上田かおり 1部 200円
 年間購読料：個人会員 2000円 広報会員 (3部) 5000円
 法人会員 1口 (5部) 10000円 賛助会員 (1部) 10000円
 振替口座 00940-0-161341
 『まねき猫通信』

年賀

題字：
 塩澤 文男
 (しおざわ・ふみお)



しょう しやけんりじょうやくしやうにん なかみ
 障がい者権利条約承認—中身づくりはこれから—4

りーえっせい しせつないぎやくたい ゆる
 リレーエッセイ：施設内虐待を許さない—佐野 武和—2

きだい あくほう とくてい ひみつ ほごほう いしづかなおと
 希代の悪法 = 特定秘密保護法—石塚直人—3

たいふう ひさいしやう しやしえん うまがき やすよし
 フィリピン台風 被災障がい者支援—馬垣安芳—6

一九八四年八月二〇日第三種郵便物承認 毎月 (1・2・3・4・5・6・7・8の日) 発行



ひらめき (作：まこ なまこ)

トリの眼・ムシの目・ニャンコの目

午年生まれの人には強運の持ち主で大器晩成型が多い。豊かな才能と情熱的な性格で存在感を示し、独立心が旺盛で冒険心も強く、行動力がある。一方、派手で見栄張りで、好き嫌いとは感情の起伏が激しい面もある。総じて、開けっぴろげで正直故に、人気と人望が厚い。そうだが馬に悪いイメージはなく、それどころか「勤勉・実直・不言実行」などの徳目に繋がるのが普通だろう。それでも「華美」が批判的に連想されるのは、疾走する際の馬の華麗な容姿に由来すると思われる。いずれにせよ、牛馬という併称が存在することを思えば、「移動、交通、農耕、運搬」などに関して人間が馬から授かる恩恵は計り知れない▲丙午の女性は気性が激しく夫の命を縮めるといふ。この差別的な迷信は、「丙午の年には火災が多い」という迷妄と「八百屋お七」が丙午生まれだといふ思い込みの連結から生じたらしい。今年も丙午ではないが、安倍内閣の閣僚全員と『特定秘密保護法案』に賛成した全ての国会議員に、この「丙午に関わる女性差別」の熟考を強く奨める。「憲法9条廃止」という迷妄と「国民は支配の対象でしかない」という思い込みの連結に凝り固まった諸君の存在、そのもの・それ自体こそが、私たちの命を縮める元凶である故に…。(バギ)

障害者への虐待の具体例

- 身体的虐待** たたく、つねる、縛り付ける、不要な薬を飲ませる
- 性的虐待** 性的暴力、理由もなく体に触る
- 心理的虐待** 怒鳴る、悪口を言う、わざと無視する
- 放棄・放置** 食事を出さない、入浴の手伝いや洗濯をしない
- 経済的虐待** 資金を払わない、勝手に年金や預貯金を引き出す



(厚生労働省の資料などから作成)

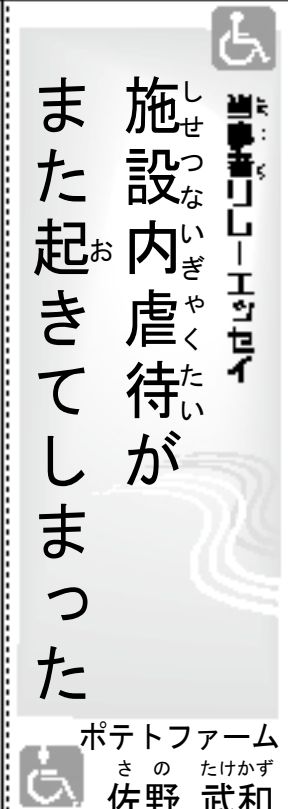
この施設を運営してきた千葉県社会福祉事業団の理事長・近藤敏巨氏は、昨年4月千葉県庁の消費生活センターに訴え、理事長のポストについている。虐待の起

千葉の虐待事件

千葉県袖ヶ浦にある障がい児施設「養育園」で虐待・死亡事件がおきた。まずは二度とこのような悲しい事件が起こらないようにするため、早急にその問題の本質と背景を検証し、その過程が開示されることを強くのぞみたい。

施設内虐待がまた起きてしまった

ポテトファームの佐野武和



きた施設を訪ね、職員の高齢下や、法令遵守に欠ける実態を管理職として認識する責務を怠っていたといえる。社会福祉事業団という公に近しい事業所がその実践理念とはかけ離れた人事によって存在し、千葉県議会で論議精査された「千葉県障害者差別禁止条例」の遵法性トッパーダーたる自覚がみじんもないという悲しさは怒りと糾弾に値する。さらには数年前から虐待が

法が絵に描いた餅にならないために

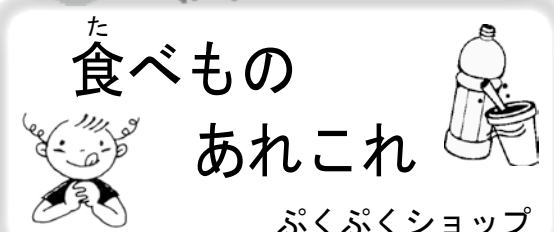
亡くなった19歳の青年は、言葉で訴えることが出来なかったのかもしれない。蹴飛ばされても、虐待をうけても訴えることがないと職員が思っていたとしたら、大きな間違いだ。必ず発覚し社会的制裁を受けることになる。悲し

継続されていたこと、千葉県社会福祉事業団が運営する他の障がい者施設でも事態が放置されていたなどと聞くと、もはや一事件の様相を超え、社会的な課題が横たわっているように思える。いや確実に制度を含めた社会構造に問題がある。社会的入所と呼ばれる、本人の意向と程遠い施設が、福祉サービスという塗り替えられた看板で存在するところが問題なのだ。地域移行がお題目のように叫ばれても、これに出来る事業者は少ない。グループホームだったり病棟転換施設であったり、社会が受け皿とはならないところにも問題の根っこを見る。

いことに今回は青年の死をもって我々は気づき検証を始めた。二度と起こさないという決意は我々すべての者に課せられる。千葉に続けと各地での条例づくりの渦中にある我々にとつてその打撃は計り知れないものがある。幾多の法律よりもまず、高い理念と粘り強い地域実践力が必要だ。虐待防止法も差別解消法も絵に描いた餅にならないようにしたい。

食べものあれこれ

ぶくぶくシヨップ



高知 土佐柚谷の里の ゆず酢・ゆずジュース

◇手間暇かけたゆず作り◇

高知県は全国の4割を占める柚子の産地です。柚子は他の柑橘とは違い、温暖な海岸部ではなく、山間部で作られます。山間で寒暖差が大きいほど香りの高い柚子ができるのか。また、桃栗3年といわれますが、香りの良い実生（接木ではない）柚子は、実がなるまでに10年以上、およそ18年かかるそうです。しかし、きちんと手入れすると寿命は長く、中には100年以上の古木も実がなるのか。棚田や傾斜地で育てるため、機械や車を使った作業は難しく、ま



た枝にはトゲがあるため、実をトゲで傷つけないようにひとつひとつ丁寧に収穫されます。こうして高知の山里では昔から人の手で柚子を守り育ててきました。高知県安芸市の山間部で、昔から無農薬の柚子づくりをされている小松さん。知り合いを通じ、関西よつば連絡会よりその柚子を使う合成添加物不使用の無農薬の柚子加工品づくりを依頼されたのが約20年前。それが、土佐柚谷の里ブランドの「ゆず酢」と「ゆずジュース」なのです。

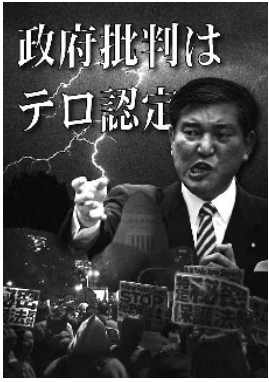
小松さんは、100%有機肥料で育てた無農薬の柚子づくりをしています。そして、先祖伝来の柚子山を管理するだけでなく、「ゆず酢」「ゆずジュース」のためにシーズンには1日に1升瓶で50～60本の果汁を絞り、冷蔵保管・加工・瓶詰め・ラベル張りまで、すべて手作業です。特に瓶詰めは、とても気を使う作業だとおっしゃっています。

◇素材も製法もシンプル◇

小松さんがこだわりのゆず果汁に塩だけを加えたのが「ゆず酢」です。この時期、鍋物に最適です。そのまま、寄せ鍋、湯豆腐、水炊

きなどに加えると本当に美味しいです。お好みで、しょうゆと砂糖などを加えた自家製ポン酢もチャレンジしてみてください。鍋だけでなく、お刺身、サラダや酢の物など何でも使え、柚子の香りが素材の味をひきたてます。変わったところではうどん、ラーメンにも数滴いれると香りが広がります。風邪の時にもあったまります。1本(300ミリリットル)で約15杯分も楽しめる。大人には焼酎と組み合わせるとホットチューハイもおすすです。

ゆず果汁に果糖と純粋はちみつを加えた「ゆずジュース」も、この時期にうれしい商品です。お湯で7～8倍に薄めるだけの手軽さで、ホットゆずができてあがります。風邪の時にもあったまります。1本(300ミリリットル)で約15杯分も楽しめる。大人には焼酎と組み合わせるとホットチューハイもおすすです。栽培から加工まで大変な手間のかかっている小松さんの柚子加工品ですが、「何も特別なこととはしてないよ」と小松さんはおっしゃいます。確かに材料も製法もシンプルですが、だからこそ大切に育てられた柚子の美味しさや香りがそのままに生かされています。どちらも防腐剤など無添加です。できるだけ、開封前も冷蔵庫保管をお願いします。そのため、ぶくぶく通販では冬限定です。開封後はお早めにお召し上がりください。



政府批判はテロ認定

新聞の作り方 109

石塚 直人

希代の悪法II 特定秘密保護法

遅すぎた

メディアの抵抗

特定秘密保護法が成立した(12月6日深夜)。衆参両院での審議時間はわずか68時間、圧倒的な議席数を頼みに、与党の自民・公明が強行採決した。審議過程であらわになったのは、全く野党の名に値しない翼賛政党「みんな」と「維新」の低劣ぶり(ある政策を60年間秘密にしておいて、その後間違ったとわかっていても実際には取り返しがつかない。そんな「修正」案に意味はない)だけだった。「みんな」が早速分裂したのは当然だろう。メディアの報道姿勢もはっきり二分化した。新聞では前回も触れたように、大手では読売と

は、最近首相直結の極右知識人が何人も経営委員として送り込まれており、幹部がこれに怯えている、との見方が強い。朝日、毎日と多くの地方紙、さらに朝日・毎日系列民放局キャスターらの抵抗姿勢には「遅すぎた」との批判がある。1年前の衆院選、さらに夏の参院選で「決められる政治」など自民圧勝を招くような世論を作ったのは彼らを含む大手メディアだし、首相の極右思想だつて誰もが承知していたはずだ。自分たちの報道が直接脅かされるようになってからの抵抗は、確かに遅すぎた。

次の選挙で

局面の転換を

とはいえ、事態がここまで来た以上、抵抗を広げていくしか術はない。朝日(大阪本社版)は7日夕刊社会面に「それでもひるまない」「次の選挙まで忘れない」と大見出しをつけた。8日朝刊では、組織の不正を正そうとする海上自衛隊の現役幹部を上司が脅した事件を詳報し、以来「秘密保護法」の長期連載を続けている。

日刊ゲンダイ(10日号)が書くように、首相と周辺は「民衆が騒いでいるのも今のうちだけ。喉元過ぎれば・・・と力をくくっている」。希代の悪法とそれを生んだ政治家を総力あげて告発し、次の選挙で局面をひっくり返すことだ。4月には消費税が8%に上がる。福祉や年金が削られる一方で、格差社会の引き金を引いた労働者派遣法はさらに企業寄り

に改悪されそうな雲行きだ(12日に厚労省が見直しの最終案を

馬の祭

かんこさんのおまかせシネマ CINEMAKASE

祭の馬



(C) 記録映画「祭の馬」製作委員会

監督: 松林要樹 2013年/日本/74分
ドバイ国際映画祭 アジア・アフリカ部門 グランプリ
第14回東京フィルメックス コンペティション部門出品
1月11日~ 第七藝術劇場 (06-6302-2073)
2月8日~ 神戸アートビレッジセンター (078-512-5500)
3月~ 京都シネマ (075-353-4723)
☆上映期間・時間については、各劇場にお問い合わせください。

人間の都合や身勝手に数奇な生を生きるミラーズクエストたちを可笑しく、優しく描いたこの映画。ミラーズクエストのファンクラブを作りたくなった。

2011年4月、松林要樹監督、南相馬に入る。地元の田中さんに案内されて見たのは、荒れ果てた町の厩舎にとり残された痩せ細った馬たち。監督はその日、撮影だけしてエサを与えず帰ったことがずっと心残りだった。県は、馬など家畜をすべて殺処分するよう要請。しかし田中さんはそれを断る。南相馬市のはたらきかけで、国は20キロ圏内の馬を伝統行事のため避難させる許可を出した。監督は5月6日に馬の避難所に行った。おちんちんが赤く腫れ上がった馬がいた。自分に重なつて、いたたまれなくなった。これまでも監督は放射能で生殖器がダメになるイメージがずっとあった。馬たちが厩舎から汚染度の高い草原で寝転び走り、転げ回る。馬は体全体で感情を表現するのだと思つた。馬を撮ろう! が、馬のことを全く知らない。当時、馬の世話を誰もしていなかった。宿舎に寝泊まりして馬の世話をすることで、習性・習慣を知ることから始まる。おちんちんの腫れ上がった馬の名はミラーズクエスト。全戦全敗の競争馬。地震がなければ、食肉になるハズだった。馬たちは相馬から雪の日に避難。広しい草原を全身で走り転げ回る。どこか遠くをみて嘶くミラーズクエストをどアップで撮ることができたのは、馬とともに旅をしてきた松林監督だからだろう。相馬の「野間道」が近づいてきた。震災で馬が少なくなっている。ミラーズクエストたちは呼び戻されることになった。迎えにきた田中さんたち「おちんちんの腫れが小さくなったような」。人間の都合や身勝手に数奇な生を生きるミラーズクエストたちを可笑しく、優しく描いたこの映画。ミラーズクエストのファンクラブを作りたくなった。

審議会に出した。産経の世論調査(15、16日)で、安倍第二次内閣の発足以来初めて支持率が5割を切った。特定秘密保護法の成立が「良かったと思わない」が66%もあったという。他紙の調査でも支持率は急落しており、読者としても怒りを燃やし続けた。